

新歓部会ロジカルシンキング

2008年4月28日

経済新人会マーケティング研究部

文責:松本 卓也

(1) ロジカルシンキングがなぜ必要か？

- ・ より正しい意思決定をするため。
- ・ 考えをよりわかりやすく、説得的に伝えるため。

(2) ロジカルシンキングの基本姿勢

- ・ 隠れた前提を探る
- ・ シンプルに考える
- ・ 問い続ける ……最重要

(3) ロジカルシンキングのための技術

ケース:「交通渋滞を緩和する方法を考えてください。」

- ・ ロジックツリー
本質的な原因や具体的な対策まで掘り下げるためのツール。
- ・ MECE (Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive)
「各事柄間に重なりがなく、全体として漏れがない」状態のこと。
モレをなくす > 重要な問題を見落とさないため
ダブりをなくす > 効率を高めるため

(4) 応用:今回のケースで持ちたい視点

① 隠れた前提を探る

- ・ 定義の確認
そもそも交通渋滞って何？ 増やす、または減らすことが目標のときは変数に分解し、式で表してみるとよい。
また、渋滞を緩和したいのは有料道路か無料の道路か？ 有料道路なら、料金を上げれば渋滞を緩和できるが、無料の道路はかえって渋滞してしまう。
- ・ 真の目的は？
何のために渋滞を緩和するのか？ そもそも、その何が問題なのか？ 経済効果のため？ CO2 排出量を削減するため？ CO2 排出量を削減するためならば、道路建設時に渋滞を緩和したときよりも多くの CO2 が排出されるとしたら、単に道路を増やす政策は無意味。このように、真の目的を考えずに手段を目的化してしまうと、かえって真の目的から遠ざかってしまうことがある。

- ・ 誰が実行するのか？
渋滞を緩和することで利益を得るのは誰か？各高速道路株式会社にとっては、渋滞するほど有料道路が混雑することは、収入が増えるのでむしろ望ましいことである。
- ・ 数値化し、定量的に考える
どのくらい緩和することが目標か？わずか1~2%緩和すればよいときに、新たな幹線道路建設を提案しても説得力はない。確かに渋滞は緩和されるが、費用対効果が悪いからだ。
- ・ どのくらいの期間で解決すればよいか？
京都議定書を遵守するために CO2排出量を削減することが真の目的であれば、30年越しの道路計画を提案しても無意味。

② シンプルに考える

とにかく、できるだけ簡潔に。一言で説明できないアイデアは大したアイデアではない。

③ 本質的な原因を問い続ける

- ・ How? / Why so?を繰り返す
- ・ 納得感のある政策を提言するためには How? / Why so?を繰り返し、具体的なアクション(すぐ実行できること)まで落とし込む必要がある。
- ・ 論理の飛躍をなくす
- ・ 抽象性のワナに注意

④ 全体から考え、感度のよい切り口を探す(フレームワーク思考)

どんな切り口がもっとも感度がよいか、他にも切り口がないか考える。できれば MECE のほうがよいが、こだわる必要はない。

⑤ 優先順位をつける

企業や政府の資源は有限であるので、どの政策から行うべきか優先順位をつける必要がある。また、考える時間にも限りがあるため、瑣末な問題は早めに切り捨て、重要な問題を掘り下げたほうがよい。

⑥ 類似のものをグルーピングする

(5) まとめ

批判的な姿勢で、問い続けることが大切！

トヨタの「why×5」

今日の部会も、明日から使えることばかりでしたね。ぜひ、新歓レジュメでも生かしてください！